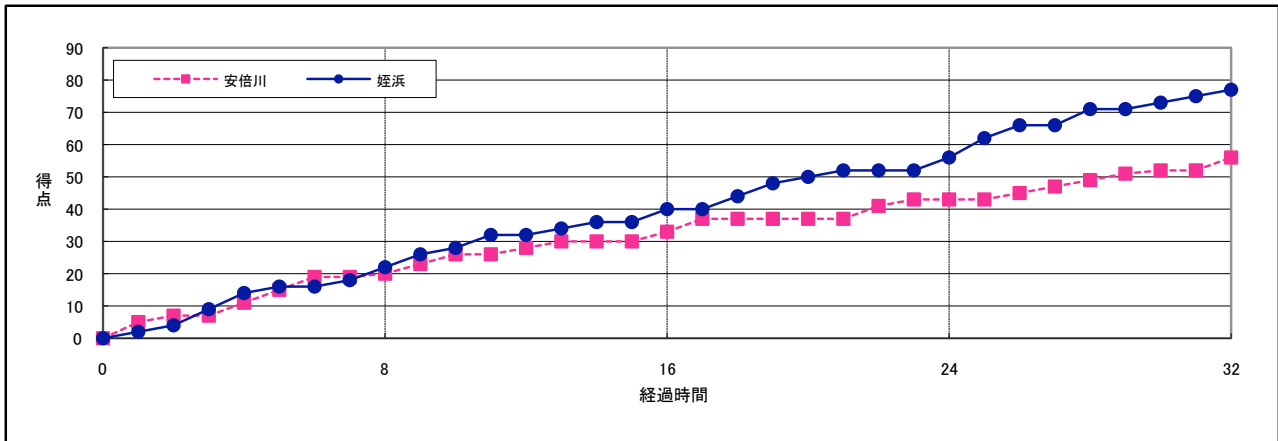


平成21年度全国中学校体育大会
第39回全国中学校バスケットボール大会



試合区分	1日目 男子 Dコート第5試合 予選リーグD				
日時	8月20日(木)		14:50 ~		
会場	鹿児島アリーナ				
結果	安倍川	56	{ 20 1st 22 13 2nd 18 10 3rd 16 13 4th 21 OT }	77	姪浜
	静岡				福岡
審判	主審 二宮 隆二		副審 秋山 知洋		



【個人トータル表】

×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

安倍川							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	弓野翔太	×	4	0	1	2	2
5	河合祥樹	×	15	1	4	4	4
6	榊原悠人						
7	堺勝義						
8	木村文哉	×	2	0	1	0	1
9	後藤泰良						
10	前田竜也						
11	石丸雅斗	×	12	0	5	2	1
12	高田凌佑						
13	宮下博行	/	13	0	6	1	0
14	青木保憲	×	10	2	1	2	1
15	杉本航一						
16	久保田健太						
17	寺田一成						
18	門脇終人						
監	杉山文規						
C	大石律子						
合計			56	3	18	11	9

姪浜							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	武内夏来						
5	金田智樹	×	6	0	3	0	4
6	大津雄仁						
7	小川翔吾	×	8	0	3	2	1
8	白浜祐仁						
9	平野亮介	/	0	0	0	0	1
10	金子海里	/	0	0	0	0	0
11	吉田大志朗						
12	古賀雷	×	11	0	5	1	2
13	山崎拓						
14	松川涼之輔						
15	浦田庸介	×	7	1	2	0	4
16	山口雄大						
17	一番ヶ瀬溪	×	29	0	13	3	3
18	柿内輝心	/	16	0	8	0	0
監	鶴我隆博						
C	小島和宏						
合計			77	1	34	6	15

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー

第1P、安倍川ハーフマンツーマン、姪浜オールコートマンツーマンでスタート。両者激しいプレッシャーをかけ合いながらの攻防となった。安倍川#5の力強いドライブがファウルを誘い、先制すると、#14の3Pシュートも決まり、5-0とリードする。それに対し、姪浜は#17、#12の素早いドライブで応戦し、すぐさま追いつく。その後は安倍川は#8、#11のゴール下、姪浜は#15のミドルシュート、#18のゴール下などで安倍川20-22姪浜と加点し合い、姪浜リードで1Pを終える。

第2P、立ち上がりは、1Pの流れのまま両者譲らない展開となり、開始2分、安倍川#13がバスケカウントを決め、安倍川26-26姪浜と同点にする。しかし、その後、姪浜は#12の1対1からの得点を皮切りに、#18、#17と連続得点を挙げ、突き放しにかかる。流れを渡したくない安倍川は、#11、#13のゴール下などで、応戦するが、シュートが得点に結びつかない苦しい時間帯が続き、安倍川33-40姪浜と姪浜リードで前半を終える。

第3P、立ち上がりから安倍川は#5のリバウンドショット、#4のフリースローなどで安倍川37-40姪浜と追い上げ、流れを引きよせる。それに対し、姪浜はダブルチームを多用したオールコートのプレッシャーで安倍川の足を止め、#7、#5、#15の連続得点で反撃し、流れを引き戻す。その後、安倍川は#5のゴール下、#14のミドルシュートなどで再び得点するが、姪浜#17の素早い個人技も決まり、安倍川43-56姪浜とリードを広げられ3Pを終える。

第4P、姪浜は激しいプレッシャーをかけ、安倍川を突き放しにかかる。姪浜#18、#17のドライブが決まり、安倍川43-60姪浜となったところで安倍川はタイムアウトをとり、流れを切りにかかると、その後、安倍川は#13、#5のゴール下、#4のドライブからのミドルシュートで得点するも、姪浜は#7、#17のドライブ、#15の3Pシュートなどでさらにリードを広げる。終盤ペースをつかんだ姪浜が安倍川56-77姪浜で勝利を収め、決勝トーナメント進出を決めた。